

6. 教員活動報告

阿部 仁

学会発表

- (1) (Co-presented with Bean, M., V, Case, J., & Wu., A.) Facilitating intercultural understanding through experiential training. Workshop conducted at NAFSA: Association of International Educators Conference, San Diego, CA. May, 2014.

口頭発表

- (1) 「アメリカ留学と現在の私」、文部科学省委託留学生交流拠点整備事業 市民と共に考える留学交流シンポジウム、埼玉大学、2014.12
- (2) 「留学生宿舎から真の国際学生宿舎へ」、国立大学法人留学生指導研究協議会、大阪大学、2015.2

庵 功雄

論文

- (1) 「書評 堀川智也著『日本語の「主題」』『日本語文法』14-1、pp.123-130、くろしお出版、2014.3
- (2) 「これからの日本語教育において求められること」『ことばと文字』創刊号、pp.86-94、くろしお出版、2014.4
- (3) 「記述文法と日本語教育」曹大峰編『日語言語学与日語教育』、pp.295-312、高等教育出版社（北京）、2014.5
- (4) 「日本語学と日本語教育の関係について—日本語教育の役に立つ研究とは？—」『日本語学研究』40、pp.111-124、韓国日本語学会（ソウル）、2014.6
- (5) 「言語的マイノリティに対する言語上の保障と「やさしい日本語」—「多文化共生社会」の基礎として—」『ことばと文字』2号、pp.103-109、くろしお出版、2014.10
- (6) “Notes on the subjunctive mood in modern Japanese” Hitotsubashi Journal Arts and Sciences. 55-1、pp.45-57、一橋大学、2015.2
- (7) 「新聞における原発関連語の使用頻度」名嶋義直・神田靖子編『3.11 原発事故後の公共メディアの言説を考える』、pp.139-155、ひつじ書房、2015.3

学会発表

- (1) 「中国語話者の母語の知識は日本語習得にどの程度役立つか—「的」の習得を中心に—」『第六屆漢日対比語言学検討会論文資料集』、p.122、漢日対比語言学研究会（北京）、2014.8

- (2) (宮部真由美、永谷直子との共同)「複数のコーパスを用いた新しい文法シラバス策定の試み」『第6回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』、pp.31-40、国立国語研究所、2014.9
- (3) 「テイル形、テイタ形の意味・用法の形態・統語論的記述の試み」『日本語文法学会第15回大会発表予稿集』、pp.51-59、2014.11
- (4) 「中国をめぐるマスコミの言説—NHK「時論公論」の場合—」『国際シンポジウム 言語学者によるメディア・リテラシー研究の最前線—ポスト 3.11 の視点—』、pp.3-6、2015.3

その他口頭発表

- (1) 「「やさしい日本語」によるナラティブ」国際ワークショップ「言語をめぐるナラティブの磁場—社会、権力、言語教育—」、2014.11

シンポジウム主催

- (1) 公開シンポジウム 「やさしい日本語」研究の現状とその展開、2014.5.25
- (2) 国際シンポジウム 東アジアにおける日本語教育の現状と今後の展開、2014.10.13

講演

- (1) 「日本語教育とコーパス」東呉大学 (台湾)、2014.5.3
- (2) (柳田直美と共同) 愛知県豊橋市役所多文化共生・国際課主催「「やさしい日本語」研修会」愛知県豊橋市役所、2014.8.28-29
- (3) (柳田直美と共同) 愛知県豊橋市役所多文化共生・国際課主催「「やさしい日本語」活用検討会」愛知県豊橋市役所、2014.11.17、2014.12.1、2014.12.22、2015.1.19、2015.1.26
- (4) 「日本語のテンス・アスペクト形式を記述する—ている、ていた、た—」名古屋大学、2014.12.21
- (5) 「類義表現の記述方法について—「100%を目指さない」文法をめぐる—」東呉大学 (台湾)、2015.3.17

研究プロジェクト

- (1) 平成 25 年度～28 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (A)) 「やさしい日本語を用いた言語的少数者に対する言語保障の枠組み策定のための総合的研究」(研究代表者)
- (2) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 「テキストの結束性を重視した母語別作文コーパスの作成と分析」(研究代表者: 金井勇人) (研究分担者)
- (3) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 「日本語学習者の母語場面・接触場면을対象とした対話コーパスの構築と分析」(研究代表者: 澤田浩子) (研究分担者)

6. 教員活動報告

- (4) 平成 26 年度～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査と Web 辞書の試作」（研究代表者：今村和宏）（研究分担者）

科学研究費助成金審査員

- (1) 審査第三部会人文学小委員会審査員（平成 25 年度、26 年度）

石黒 圭

著書

- (1) 『「うまい！」と言わせる文章の裏ワザ』、pp.1-224、河出書房新社、2014.4
(2) （橋本行洋氏と共編著）『話し言葉と書き言葉の接点』、pp.1-292、ひつじ書房、2014.9
(3) （編著）『日本語教師のための実践・作文指導』、pp.1-224、くろしお出版、2014.10
(4) 『心を引き寄せる 大人の伝え方 集中講義』、pp.1-272、サンクチュアリ出版、2015.2

論文

- (1) 「講義の談話における『が』『けれども』の用法」『一橋大学国際教育センター紀要』5、pp.3-15、一橋大学国際教育センター、2014.7
(2) 「書き言葉・話し言葉と『硬さ／軟らかさ』」『日本語学』34-1、pp.14-24、明治書院、2015.1

概説

- (1) 「感度を高める言葉の教育（1）言葉の「なぜ」を考える」『指導と評価』60-4、pp.36-38、図書文化社、2014.4
(2) 「日本語における『省略』の考え方」『New 聖書翻訳』1、pp.69-81、一般社団法人日本聖書協会、2014.5
(3) 「感度を高める言葉の教育（2）学術専門語の特徴」『指導と評価』60-5、pp.37-39、図書文化社、2014.5
(4) 「感度を高める言葉の教育（3）専門語の語構成と生産性」『指導と評価』60-6、pp.39-41、図書文化社、2014.6
(5) 「感度を高める言葉の教育（4）分野共通語彙・特殊語彙」『指導と評価』60-7、pp.36-38、図書文化社、2014.7
(6) 「感度を高める言葉の教育（5）辞書の弊害と可能性」『指導と評価』60-8、pp.38-40、図書文化社、2014.8
(7) 「感度を高める言葉の教育（6）小学校の専門語」『指導と評価』60-9、pp.39-41、図書文化社、2014.9
(8) 「感度を高める言葉の教育（7）留学生はオノマトペが苦手」『指導と評価』60-10、pp.45-47、図書文化社、2014.10

- (9) 「感度を高める言葉の教育(8) 中国人留学生の感覚」『指導と評価』60-11、pp.42-44、図書文化社、2014.11
- (10) 「感度を高める言葉の教育(9) 辞書の意味からわかること」『指導と評価』60-12、pp.40-42、図書文化社、2014.12
- (11) 「感度を高める言葉の教育(10) 現代語に残る文語表現」『指導と評価』61-1、pp.42-44、図書文化社、2015.1
- (12) 「感度を高める言葉の教育(11) 丁寧形と普通形は混ぜられる」『指導と評価』61-2、pp.40-42、図書文化社、2015.2
- (13) 「感度を高める言葉の教育(12) 四種類の普通体」『指導と評価』61-3、pp.39-41、図書文化社、2015.3

学会発表

- (1) 「大学講義の文末表現」関西言語学会第39回大会招聘発表、2014.6.15、大阪大学
- (2) 「日本語を母語としない生徒にとっての『文章理解の壁』」2014年度日本語教育学会秋季大会パネルセッション司会、2014.10.11、富山国際会議場

講演・シンポジウム

- (1) 「読解授業の教室活動」ひょうご日本語教師連絡会議第34回講演、2014.6.14、国際健康開発センタービル（神戸市）
- (2) 「母語話者・学習者の作文執筆プロセスにおける修正の諸相」第56回NINJALコロキウム講演、2015.2.17、国立国語研究所
- (3) 「語彙シラバスと文章理解」学習者コーパスから見た日本語習得の難易度に基づく語彙・文法シラバスの構築公開シンポジウム「シラバス作成を科学にする—日本語教育に役立つ多面的な語彙シラバスの作成—」基調講演、2015.2.22、国立国語研究所

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究代表者：五味政信「日本語を母語としない外国人生徒の読解力を育成するための基礎的研究」(研究分担者) (2012～2014年度)
- (2) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究代表者：澤田浩子「日本語学習者の母語場面・接触場面を対象とした対話コーパスの構築と分析」(研究分担者) (2013～2015年度)
- (3) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究代表者：金井勇人「テキストの結束性を重視した母語別作文コーパスの作成と分析」(研究分担者) (2013～2015年度)
- (4) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (B) 研究代表者：村岡貴子「大学・大学院でのキャリア形成に資する在学段階別日本語ライティング教育の開発と評価大学・大学院でのキャリア形成に資する在学段階別日本語ライティング教育の開発と評価」(研究分担者) (2014～2017年度)

今村 和宏

論文

- (1) 「能動的読みへの気づきと意識化に重点を置いた速読学習—読みの速度と深さを同時に向上させる条件—」『日本語／日本語教育研究』5、pp117-135、2014.5
- (2) 「社会科学系基礎文献における分野別語彙、共通語彙、学術共通語彙の特定一定量の基準と教育現場の視点の統合—」、『専門日本語教育』第16号、pp.29-36、2015.1

研究プロジェクト

- (1) 平成24年度～平成26年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「生活者向け日本語学習支援における教授者育成のための基礎的研究」（研究代表者：足立祐子）（研究分担者）
- (2) 平成26年度～平成28年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査とウェブ辞書の試作」（今村和宏）

シンポジウム

- (1) 「平和と脱原発を考えるためのメディア・リテラシー」、pp.36-42、「国際シンポジウム言語学者によるメディア・リテラシー研究の最前線—ポスト3.11の視点—発表資料集」東北大学、2015.3.22

太田 浩

著書

- (1) “Japanese Universities’ Strategic Approach to Internationalization: Accomplishments and Challenges”, In A. Yonezawa, Y. Kitamura, A. Meerman & K. Kuroda (Eds.), *Emerging International Dimensions in East Asian Higher Education*, Heidelberg: Springer, pp. 227-252, 2014.4
- (2) （工藤和宏，上別府隆男と共著）「日本の大学国際化と留学生政策の展開」『私学高等教育研究叢書：日韓大学国際化と留学生政策の展開』2、日本私立大学協会附置私学高等教育研究所、pp.13-52、2014.10

論文

- (1) 「日本人学生の内向き志向に関する一考察—既存のデータによる国際志向性再考—」『留学交流』40(7)、日本学生支援機構、pp.1-19、2014.7

学会発表

- (1) 「日本人学生（若者）の内向き志向再考」『異文化間教育学会第35回大会発表抄録』、p.156-157、異文化間教育学会、同志社女子大学、2014.6
- (2) “Japanese Universities’ Strategic Approach to Internationalization: Accomplishments and Challenges”, p.11, Japan Comparative Education Society -The 50th Annual Conference-, Nagoya University, July, 2014.

- (3) (渡部由紀、野田文香、金性希と共同発表)「グローバルな競争環境下における大学国際化評価に関する研究:大学国際化の評価指標に関する質問紙調査の結果を中心に」『日本比較教育学会第50回大会発表要旨録』、p 60、日本比較教育学会、名古屋大学、2014.7
- (4) “Internationalization and Research (Graduate Programs) in East Asia: A Case Study on Japan”, p.88, 2015 AIEA Annual Conference, Washington Marriott Wardman Park, Washington, DC, February, 2015.
- (5) 「広島県の留学生増加(倍増)に向けた方策」『留学生教育学会留学生担当教職員研究分科会(留学生教育における学内外連携の現状と課題)』、留学生教育学会教職員分科会、一橋大学、2015.2
- (6) “Exploring Assessment of Internationalization in the Context of Japanese Universities”, p.71, 59th Annual Conference of the Comparative and International Education Society, Washington Hilton, Washington, DC, March, 2015.
- (7) “International Student Policies in Japan: Enablers and Barriers to Attract International Students”, p.26, Can Asian Universities Become the Hub of International Students? Opportunities and Strategies for Maximizing the Potential (Pre-conference Workshop), APAIE Conference & Exhibition 2015, Beijing International Convention Center, Beijing, March, 2015.
- (8) “MASTERMIND: A Changing Paradigm for Graduate Admissions (A Case of Asia and Japan)”, p.98, APAIE Conference & Exhibition 2015, Beijing International Convention Center, Beijing, March, 2015.
- (9) “Changing Policies and New Trends of International Student Mobility: A Case of Japan”, p.126, APAIE Conference & Exhibition 2015, Beijing International Convention Center, Beijing, March, 2015.

シンポジウム

- (1) 「広島県における留学生の現状と増加(倍増)に向けた方策」、日本語学校教育研究大会、国立オリンピック記念青少年総合センター、2014.8.4
- (2) 「Hofstedeの文化5次元モデルによる日中の文化比較」、異文化コミュニケーションの視野に基づいた中日民間交流のあり方研究会、北京第二外国語学院、2015.2.12
- (3) “Trends and Issues of Student Mobility from China to Japan”, How to Build Civil Exchange Programs for Further Development and Expansion of Japan-China Relations, Japan-China Friendship Center, Tokyo, February 24, 2015.

講演

- (1) 「グローバル人材育成を目指す海外留学プログラムの構築:現実と課題」、英語+アルファ海外研修セミナー、在日オーストラリア大使館、2014.5.14

6. 教員活動報告

- (2) “Japanese Higher Education: A Comparative Perspective”, Northeastern University: Politics and Culture in International and Comparative Perspectives (Learning Abroad), Meiji University, Tokyo, May 23, 2014.
- (3) “International Student Mobility and Highly-Skilled Migration”, Introduction to Global Studies (IGS200-1), Akita International University, Akita, June 3, 2014.
- (4) 「英語によるプログラムの創成：一橋大学の事例」、第6回広島県留学生・大学グローバル化研究会ワークショップ、ひろしま国際センター交流ホール、2014.6.27
- (5) 「大学国際化の取組み事例（英語によるプログラム）」、獨協大学国際化・グローバル化検討部会第2回意見交換会：キャンパス空間におけるグローバル化、獨協大学学生センター・雄飛ホール、2014.7.2
- (6) 「グローバル化と大学の国際化・国際教育の課題」、グローバル化に職員・職員職場としてどう対処するか（学校法人立命館管理職研修）、立命館大学朱雀キャンパス、2014.8.1
- (7) 「外国人留学生 30 万人に向け産官学がなすべきこと～地域戦略も含めて～」、関西経済同友会・アジアとの成長と日本・関西の役割委員会、関西経済同友会会議室、2014.9.12
- (8) 「大学の国際化：グローバル時代における大学改革」、シュプリンガー・エグゼクティブ・セミナー：大学の戦略的国際化を考える—教育の国際化推進と留学生の受入れ増を軸に、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川、2014.10.24
- (9) 「大学の国際化：図書館員に求められるものは何かく英語によるプログラムの視点から考える」、第16回図書館総合展、パシフィコ横浜第4会場(アネックスホール204)、2014.11.7

研究プロジェクト

- (1) 平成 24 年度～26 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「アジア高等教育における透過性のある教育フレームワークの構築に向けた比較研究」（研究代表者：堀田泰司）（研究分担者）
- (2) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「グローバル人材育成と留学の長期的インパクトに関する国際比較研究」（研究代表者：横田雅弘）（研究分担者）
- (3) 日本学生支援機構「日本人海外留学生数に関する調査」（2013～14 年度）
- (4) 日本学生支援機構「留学生交流支援制度（短期受入れ・短期派遣）評価分析調査」（2013～14 年度）
- (5) 大学評価・学位授与機構「国際学生移動と外国学歴・資格評価に関する調査」（2013～14 年度）
- (6) 東アジア共同体評議会「日中研究交流支援事業（外務省）：日中関係の深化と拡大に向けた民間交流のあり方」（研究代表者：杉村美紀）（研究分担者）（2014 年度）

- (7) ベネッセ「留学生満足度調査」(2013~14年度)
- (8) 明治大学新領域創成型研究「デルファイ法による大学国際化指標体系の構築」(研究代表者:新田功)(研究分担者)(2014年度)

五味 政信

著書(辞書)

- (1) 『五味版 学習者用ベトナム語辞典』、pp.1-1144、武蔵野大学出版会、2015.1

テキスト監修

- (1) 『これで教科書がよくわかる! 国語サバイバル日本語 一中学一』(科学研究費補助金 基盤研究(C)「日本語を母語としない外国人生徒の読解力を育成するための基礎的研究」(研究代表者:五味政信)研究成果物、2015.3

翻訳監修

- (1) 『みんなの日本語 中級I 翻訳・文法解説 ベトナム語版』スリーエーネットワーク、2014.6

研究プロジェクト

- (1) 平成24年度~26年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「日本語を母語としない外国人生徒の読解力を育成するための基礎的研究」(研究代表者)
- (2) 平成26年度~28年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査とWeb辞書の試作」(研究代表者:今村和宏)(研究分担者)

新見 有紀子

学位論文

- (1) “Experiences of Japanese Visiting Scholars in the United States: An Exploration of Transition”, 2014.5

論文

- (1) (Coauthored with Akiyoshi Yonezawa) “Transformation of University Governance Through Internationalization: Challenges for Top Universities and Government Policies in Japan” Higher Education, pp.1-14 2015.1
- (2) (Coauthored with Michael Goh, Kyujin Yon, & Tatsuya Hirai) “Experiences of Asian Psychologists and Counselors Trained in the USA: An Exploratory Study” Asia Pacific Education Review, 15 (4), pp. 593-608, 2014.10

報告

- (1) “International Visiting Scholars: Brain-circulation and Internationalization,” International Higher Education, 77, pp.9-11, 2014.10

6. 教員活動報告

- (2) (Coauthored with Philip G. Altbach, Laura E. Rumbley, David A. Stanfield, Ariane de Gayaradon de Fenoyl, & Roy Y. Chan) “Higher Education: A Worldwide Inventory,” Lemmens, 2014.10

学会発表

- (1) “Challenges of Scholarly Exchange in the Internationalization of Higher Education: An Exploration of Japanese Visiting Scholars at American Universities,” Association for the Study of Higher Education (ASHE) Annual Conference, Washington, DC, 2014.11

講演・シンポジウム

- (1) (Copresented with Akiyoshi Yonezawa) “Transformation of University Governance Through Internationalization: Challenges for Top Universities and Government Policies in Japan” A Seminar on Globalization and Education, 2015.2

研究プロジェクト

- (1) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「グローバル人材育成と留学の長期的なインパクトに関する国際比較研究」（研究代表者：横田雅弘）（研究協力者）

三枝 令子

著書

- (1) 『語形から意味へ 機能中心主義へのアンチテーゼ』、pp.1-254、くろしお出版、2015.3

学位論文

- (1) 『語形から意味へ 機能中心主義へのアンチテーゼ』一橋大学大学院言語社会研究科、2014.10

事典事項執筆

- (1) 「外国人介護福祉士の現状と課題」『介護福祉学事典』、pp.170-171、ミネルヴァ書房

口頭発表

- (1) 「介護用語の表記の統一 —介護用語平易化の第一歩として—」（遠藤織枝、三枝優子と共著）『第 22 回日本介護福祉学会大会発表報告要旨集』、pp.68、日本社会事業大学 2014.10
- (2) 「中国語との比較 国際化の観点から」『2014 年度日本語教育学会秋季大会予稿集』、pp.28-30、富山国際会議場、2014.10
- (3) 「介護用語の日中比較 —外来語の取り入れ方—」『第 10 回日本語教育日本研究シンポジウム 変化する国際社会における課題と可能性』、pp.68、香港大学、2014.11

その他口頭発表

- (1) 「日本語の今」一橋大学語学研究室例会、2015.2

- (2) 「日本語のこれからを考えるために」一橋日本語教育研究会、2015.3

研究プロジェクト

- (1) 平成24年度～平成26年度科学研究費補助金（基盤研究C）研究題目「介護の用語の平易化一開かれた介護を目指す営み」（研究代表者）
- (2) 平成26年度～平成28年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査とウェブ辞書の試作」（研究分担者）

高橋 紗弥子

研究プロジェクト

- (1) 平成25年度～27年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査とweb辞書の試作」（研究代表者：今村和宏）（研究分担者）

西谷 まり

報告

- (1) 「日本語ビジネスコミュニケーション教材の開発」『一橋大学国際教育センター紀要』5号、pp.105-112、一橋大学国際教育センター、2014.7

学会発表

- (1) 「失敗から学ぶワークショップの実践」『日本教育工学会研究報告会報告集』、JEST12-5、pp.179-184、2014.12

研究プロジェクト

- (1) 平成23年度～26年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「非母語話者日本語教師の教授不安に着目した日本語指導方略の在り方」（研究代表者）

二宮 理佳

著書

- (1) （共著）「第8章 フィードバックでモチベーションを高める」、pp.74-83、「第18章 モチベーションを高めるフィードバックの実際」、pp.187-198、石黒圭編著『日本語教師のための実践・作文指導』、pp.1-224、くろしお出版、2014.10

論文

- (1) 「多読と内発的動機づけ、及びメタ認知活動」『一橋大学国際教育センター紀要』第5号（通巻17号）、pp.17-32、一橋大学、2014.7

6. 教員活動報告

柳田 直美

著書

- (1) 『接触場面における母語話者のコミュニケーション方略—情報やりとり方略の学習に着目して』、pp.1-224、ココ出版、2015

論文

- (1) 「日本語教育実習における実習生の学びを促す内省プログラムの開発—録画資料を積極的に活用した内省プログラムの試案—」『一橋日本語教育研究』3号、pp.13-23、2015.3
- (2) 「議論の場における「他者発言容認の前置き表現」使用の縦断的变化—中国人日本語学習者の場合—」『一橋大学留学生センター紀要』5号、pp.49-63、2014.7

口頭発表

- (1) 「母語話者の「説明」に対する非母語話者の評価—「やさしい日本語」の評価尺度開発に向けて—、「言語と人間」研究会10月例会（立教大学）、2014.10
- (2) 「非母語話者は母語話者の「説明」をどのように評価するか—母語話者の「説明」に対する第三者評価の分析—」、『2014年度日本語教育学会秋季大会予稿集』、pp.99-104、日本語教育学会（富山国際会議場）、2014.10
- (3) （小林ミナ・藤井清美と共同発表）「会話教材における発音表示」、Sydney-ICJLE2014（シドニー日本語教育国際研究大会）（シドニー工科大学）、2014.7
- (4) 「話し言葉のやさしい日本語—会話におけるやさしい日本語研究の現状と今後の展開—」、公開シンポジウム「やさしい日本語」研究の現状とその展開（一橋大学）、2014.5

講演

- (1) 公益財団法人栃木県国際交流協会・さくら市国際交流協会主催「やさしい日本語セミナー」、（氏家公民館）、2015.3.6
- (2) 国立国語研究所日本語教育研究・情報センター主催日本語教育講演会「語彙読解における読み物の執筆」（国立国語研究所、2015.2.21
- (3) （庵功雄と共同）愛知県豊橋市役所多文化共生・国際課主催「「やさしい日本語」活用検討会」（愛知県豊橋市役所）、2014.11.17, 2014.12.1, 2014.12.22, 2015.1.1, 2015.1.26
- (4) （庵功雄と共同）愛知県豊橋市役所多文化共生・国際課主催「「やさしい日本語」研修会」（愛知県豊橋市役所）、2014.8.28-29
- (5) （齋藤美幸と共同）東京都主催「平成25年度東京都防災（語学）ボランティア研修「やさしい日本語技術」研修基礎編「「やさしい日本語」とは？」（インターカルト日本語学校）、2014.7.26, 2014.11.15
- (6) 「複言語時代における共生言語」、複言語時代の言語教育研究会第3回公開研究会（桜美林大学）、2014.6.21

研究プロジェクト

- (1) 平成 26 年度～28 年度文部科学省科学研究費 (若手(B)) 「地方自治体の窓口における外国人対応支援のための研究」(研究代表者)
- (2) 平成 25 年度～27 年度文部科学省科学研究費 (基盤研究 (B)) 「言語運用に対する個人の評価価値観の形成とその変容に関する研究」(研究代表者:宇佐美洋)(研究分担者)
- (3) 平成 25 年度～27 年度文部科学省科学研究費 (基盤研究 (C)) 「日本語学習者の母語場面・接触場面を対象とした対話コーパスの構築と分析」(研究代表者:澤田浩子)(研究分担者)
- (4) 平成 25 年度～27 年度文部科学省科学研究費 (基盤研究 (C)) 「大学留学生と日本人学生の協同学習による対話能力育成カリキュラムの開発」(研究代表者:森本郁代)(研究分担者)
- (5) 平成 25 年度～28 年度文部科学省科学研究費 (基盤研究 (A)) 「やさしい日本語を用いた言語的少数者に対する言語保障の枠組み策定のための総合的研究」(研究代表者:庵功雄)(研究分担者)

渡部 由紀

報告

- (1) 「シンガポール」『アジア高等教育における透過性 (Permeability) のある教育フレームワーク構築に向けた比較研究』、平成 24 年度～26 年度文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書、広島大学、(出版予定)
- (2) (金性希と共著) 「グローバル化時代の国際教育交流プログラムの在り方—韓国の 4 大学の事例から—」『一橋大学国際教育センター紀要』5 号、pp.113-126、一橋大学国際教育センター、2014.7

論文

- (1) 「国際共同学位プログラム—グローバル化時代の国際的な教育連携協力」『留学交流』38、pp.1-13、日本学生支援機構、2014.5

学会発表

- (1) (太田浩、野田文香、金性希と共同発表) 「グローバルな競争環境下における大学国際化評価に関する研究—大学国際化の評価指標に関する質問紙調査の結果を中心に」『日本比較教育学会第 50 回大会発表要旨集録』p. 60、日本比較教育学会、名古屋大学、2014. 7
- (2) (Co-presented with Hiroshi Ota & Ayaka Noda) “Exploring Assessment of Internationalization in the Context of Japanese Universities,” Comparative & International Education Society Annual Conference, Washington DC, USA, March, 2015.

6. 教員活動報告

講演

- (1) “Internationalization of Japanese Higher Education,” Lecture at the Department of Organizational Leadership, Policy, and Development, University of Minnesota, Twin Cities, 2015.3.3

研究プロジェクト

- (1) 平成 24 年度～26 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「アジア高等教育における透過性（Permeability）のある教育フレームワーク構築に向けた比較研究」（研究代表者：堀田泰司）（研究分担者）
- (2) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「グローバル人材育成と留学の長期的インパクトに関する国際比較研究」（研究代表者：横田雅弘）（研究分担者）
- (3) 平成 26 年度新領域創成型研究「デルファイ法による大学国際指標体系の構築」（研究代表者：新田功）（研究分担者）

教員の海外渡航

阿部 仁

- (1) 2014.5.24～6.2 アメリカ (サンディエゴ)
NAFSA (Association of International Educators) 年次総会への出席および発表
- (2) 2014.9.8～9.12 アメリカ (フィラデルフィア、ニューヨーク)
 1. ペンシルバニア大学 (English Language Program) モニター留学の視察
 2. Education First ニューヨーク校におけるモニター留学の視察
- (3) 2014.11.14～11.17 ベトナム (ハノイ、ホーチミン)
JASSO 日本留学フェア参加
- (4) 2015.2.25～3.5 スペイン (マドリッド)
 1. 短期海外研修 (スペイン企業派遣) 視察
 2. 来年度の短期海外研修プログラム運営について受入企業担当者との意見交換
 3. 在マドリッド日本大使館との意見交換

庵 功雄

- (1) 2014.5.2～5.4 台湾 (台北)
東呉大学における国際シンポジウムで基調講演
- (2) 2014.8.18～8.22 中国 (北京)
中国人民大学における漢日対比語言学会で口頭発表
- (3) 2014.9.12～9.15、12.12～12.15 台湾 (台北)
東呉大学における集中講義
- (4) 2015.3.4～3.18 台湾 (台北)
東呉大学における教育実習引率および同大学における集中講義・講演

石黒 圭

- (1) 2015.3.12-14 中国 (北京)
北京師範大学訪問および縦断コーパス作成プロジェクト打ち合わせ

太田 浩

- (1) 2014.4.1～4.3 オランダ (アムステルダム)
EAIE Anniversary Event に参加、大学国際化に関する研究調査の意見交換と情報収集
- (2) 2014.9.16～9.22 チェコ (プラハ)
新規学術協定大学と学生交流協定についての打ち合わせ、短期海外研修を通じた学生交流の状況把握、日本の大学における欧州の大学との交流状況について情報収集

6. 教員活動報告

- (3) 2014.11.18～11.21 アメリカ (ワシントン)
日米文化教育交流会議 (CULCON) フォーカス・グループ (日米間の学生交流増加を促進するためのもの) の会合とレセプションに委員として参加
- (4) 2015.1.25～2.7 インドネシア (ジャカルタ)
国立インドネシア大学大学院において、日本研究修士課程の大学院生を対象に「日本のビジネス・カルチャー」について集中講義
- (5) 2015.2.11～13 中国 (北京)
日中研究交流支援事業 (外務省) 「日中関係の深化と拡大に向けた民間交流のあり方」による現地調査
- (6) 2015.2.15～2.20 アメリカ (ワシントン)
AIEA 年次総会に参加、科学研究費補助金課題「グローバル人材育成と留学の長期的インパクトに関する国際比較研究」の現地調査と意見・情報交換
- (7) 2015.3.1～3.7 アメリカ (ニューヨーク、バッファロー)
国際教育研究コンソーシアム主催の米国研修プログラム (留学生のリクルーティング、アドミッション、エンロールメント・マネジメント) に同行引率
- (8) 2015.3.8～3.14 アメリカ (ワシントン)
CIES 年次総会に参加、大学国際化の評価に関する調査研究の発表、帰国した元日本留学生に関する調査の打ち合わせ
- (9) 2015.3.22～3.27 中国 (北京)
APAIE 年次総会に参加、ワークショップで日本の留学生政策の動向について発表、また、セッションで日本の大学院における留学生アドミッションの現状と学生流動化に関する日本の政策動向についても発表

奇 春花

- (1) 2014.7.17～7.21 台湾 (台北、台中、高雄)
JASSO 留学フェア参加
- (2) 2014.8.28～9.1 タイ (チェンマイ、バンコク)
JASSO 留学フェア参加
- (3) 2014.10.24～10.27 中国 (北京)
JASSO 留学フェア参加
- (4) 2014.11.12～11.16 中国 (瀋陽、長春)
JASSO 留学フェア参加
- (5) 2015.3.2～3.4 中国 (北京)
北京大学短期海外研修視察

五味 政信

- (1) 2014.8.17~8.26 中国 (香港)
香港大学 SPACE における集中講義
- (2) 2014.10.13~10.16 ベトナム (ハノイ)
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団奨学生選考面接のため渡越
- (3) 2014.11.27~12.1 ベトナム (ハノイ)
大学間学生交流支援でハノイ貿易大学を訪問
- (4) 2015.3.31~4.3 ベトナム (ハノイ)
大学間学生交流協定に関する調査のためベトナム国家大学 (ハノイ) を訪問

新見 有紀子

- (1) 2014.9.12~9.15 韓国 (釜山・ソウル)
JASSO 留学フェア参加
- (2) 2014.11.18~11.24 アメリカ (ワシントン DC)
Association for the Study of Higher Education (ASHE) Annual Conference への出席と発表
- (3) 2015.3.1~3.5 オーストラリア (メルボルン)
短期海外研修 (モナッシュ大学) 視察

三枝 令子

- (1) 2014.11.15~16 中国 (香港)
第10回日本語教育日本研究シンポジウム (於: 香港大学) 参加と発表

西谷 まり

- (1) 2014.8.28~9.10 ベトナム (ホーチミン)
サイゴンランゲージスクール、ドンズー日本語学校
非母語話者日本語教師志望者の教授不安研究
- (2) 2014.12.25~2015.1.1 ベトナム (ホーチミン)
サイゴンランゲージスクール
ベトナムの日本語教師サポート
- (3) 2015.3.5~3.16 ベトナム (ホーチミン)
ホーチミン市師範大学、サイゴンランゲージスクール、ドンズー日本語学校
大学院海外教育実習サポート及び、非母語話者日本語教師志望者の教授不安研究

6. 教員活動報告

柳田 直美

- (1) 2014.7.9～3.14 オーストラリア（シドニー）
Sydney-ICJLE2014（シドニー日本語教育国際研究大会）での研究発表（於：シドニー工科大学）
- (2) 2015.3.1～3.5 ベトナム（ホーチミン）
ホーチミン市師範大学
海外実習視察及び打ち合わせ

渡部 由紀

- (1) 2014.11.18～11.25 韓国（ソウル・済州島）
韓国国立国際教育院主催の国際教育関係者招待セミナー（NIIED Seminar for Educators of International Education, 2014）への参加
- (2) 2014.11.28～12.1 マレーシア（クアラルンプール）
JASSO 留学フェア参加
- (3) 2015.2.23～2.28 韓国（ソウル）
西江大学短期海外研修引率
- (4) 2015.3.2～3.7 アメリカ（ミネアポリス）
新領域創成型研究「デルファイ法による大学国際指標体系の構築」の関連で、ミネソタ大学国際化評価チーム関係者に対する聞き取り調査と意見交換
- (5) 2015.3.7～3.15 カナダ（トロント）
Comparative & International Education Society Annual Conference への出席と発表